

## 広島大学旧理学部 1 号館の保存・活用の方針

平成 2 9 年 3 月

広 島 市

## 目 次

|     |                         |   |
|-----|-------------------------|---|
| I   | 広島大学旧理学部 1 号館について ..... | 1 |
| II  | 保存・活用の方針 .....          | 2 |
| III | 今後の進め方 .....            | 2 |
|     | 資料編 .....               | 3 |

## I 広島大学旧理学部 1 号館について

### 1 建物概要

所在地：広島市中区東千田町一丁目

設計者：文部省会計局

施工年：昭和6年（1931年）

[昭和8年(1933年)に一部を増築]

構造：鉄筋コンクリート造

基礎：直接基礎

建物規模：地上3階（建築面積 約 2,800 m<sup>2</sup>、延床面積 約 8,500 m<sup>2</sup>）

外部仕上：基礎 花崗岩

（建設当時）外壁 スクラッチタイル

窓 木製（補修により一部スチールサッシ）

車寄 花崗岩石積、鉄扉

内部仕上：玄関廻 床 モザイクタイル

（建設当時）腰壁 大理石

壁 漆喰塗

内部一般 床 モルタル金こて

壁 漆喰塗

天井 漆喰塗

### 2 建物の略歴

|                       |         |                                                        |
|-----------------------|---------|--------------------------------------------------------|
| 建設から<br>被爆まで          | 昭和6年    | 広島文理科大学（昭和4年開校）の本館として完成                                |
|                       | 昭和8年    | 増築されてEの字形になる                                           |
|                       | 昭和20年6月 | 3階部分と2階の一部が、中国地方総監府（本土決戦に備え、本土分断の際にも自立できるための地方行政機構）に接收 |
|                       | 昭和20年8月 | 被爆（敷地は爆心地より南南東1,420mの地点）、火災発生                          |
| 被爆後の<br>建物利用          | 昭和21年9月 | 講義を本格的に再開                                              |
|                       | 昭和24年5月 | 学制改革で広島大学に包括され理学部校舎として使用開始                             |
|                       | 昭和33年   | 改修工事（壁の一部は、東広島キャンパスで保存）                                |
| 東広島<br>キャンパスへ<br>の移転後 | 平成3年    | 理学部が東広島キャンパスへ移転<br>（玄関の鉄扉中央の飾り物と、取り付け丁番は、東広島キャンパスへ移設）  |
|                       | 平成6年    | 被爆建物等台帳登録                                              |
|                       | 平成25年4月 | 本市が建物及びその敷地を独立行政法人国立大学財務・経営センター（当時）から無償取得              |

### 3 被爆建物としての位置づけ

広島大学旧理学部 1 号館は、「広島市被爆建物等保存・継承事業実施要綱」第4条に基づいて、平成5年度に台帳登録されており、その内容は次のとおりである。

- ・被爆時の名称：広島文理科大学
- ・所在地：中区東千田町一丁目 1-89
- ・爆心地からの距離：1,420m

【参考】広島市被爆建物等保存・継承事業実施要綱（抜粋）

第4条 保存・継承の対象となる被爆建物等は、建物及び橋りょうにあっては爆心地から5キロメートル以内に現存するものの中から、樹木にあっては爆心地から概ね2キロメートル以内に現存するものの中から、市長が被爆の事実を調査把握したものとする。

## Ⅱ 保存・活用の方針

### 1 基本的な考え方

- ・ 旧理学部1号館は、かつての学都広島としての歴史を象徴する建物であり、また、被爆建物であることを踏まえ、「知の拠点」の核となり、新たな時代に向けて知の継承を図るとともに、被爆の実相を後世に伝えることができるよう、保存・活用する。
- ・ 保存・活用に当たっては、広島大学本部跡地全体が「知の拠点」としての機能が高まるような機能の導入を図る。

### 2 保存・活用の方向性

- ・ 被爆の実相を後世に伝え、未来に向けて平和への思いを共有できる空間とする。
- ・ 多くの人が集い、交流し、新たな知を生み出す空間とする。
- ・ 中長期的に持続可能な用途、規模により、活用する建物の部分を保存する。

### 3 保存範囲及び活用方策

#### (1) 保存範囲

正面部分の建物は保存する。その上で、活用のための施設規模がさらに必要で、見込まれる事業費が確保できれば、保存範囲を拡げる。

#### (2) 活用方策

「幅広い世代に門戸を開いた広島ならではの平和に関する教育・研究や交流・活動を行う場」として活用することを基本とし、複合的に「幅広い世代の人々が集い、多目的に利用できるコミュニティスペース」として活用する。

## Ⅲ 今後の進め方

活用方策の具体化を図るため、地域の大学や関係者と連携しながら、具体的な導入機能等の検討を行う。

## 資料編

### 1 広島大学旧理学部 1 号館の保存・活用に関する懇談会

広島大学旧理学部 1 号館の保存・活用の方針の取りまとめに当たり、有識者や関係団体等で構成する「広島大学旧理学部 1 号館の保存・活用に関する懇談会」を開催し、幅広い意見等をお聴きした。

#### (1) 広島大学旧理学部 1 号館の保存・活用に関する懇談会の開催状況

| 開催日及び会場 |                                                          | 議事                                                                                                                                                                                                          |
|---------|----------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第 1 回   | 平成 2 8 年 6 月 2 7 日<br>広島市役所本庁舎 1 4 階<br>第 3 会議室          | (1) 座長の選出について<br>(2) 広島大学本部跡地の活用状況について<br>(3) 広島大学旧理学部 1 号館の建物概要及び劣化状況調査結果について<br>(4) 広島大学旧理学部 1 号館の保存・活用に係る市民アイデア募集の結果について<br>(5) 他都市の歴史的建造物の保存・活用事例について<br>(6) 「広島大学旧理学部 1 号館の保存・活用の方針」の全体構成及び懇談会の進め方について |
| 第 2 回   | 平成 2 8 年 8 月 3 日<br>広島大学東千田未来創生センター<br>3 階 講義室 M 3 0 4   | (1) 広島大学本部跡地における取組状況について<br>(2) 旧理学部 1 号館の保存・活用について                                                                                                                                                         |
| 第 3 回   | 平成 2 8 年 9 月 1 日<br>広島市役所本庁舎 1 4 階<br>第 7 会議室            | (1) 広島大学本部跡地における取組状況について<br>(2) 旧理学部 1 号館の保存・活用について                                                                                                                                                         |
| 第 4 回   | 平成 2 8 年 1 2 月 5 日<br>広島大学東千田未来創生センター<br>3 階 講義室 M 3 0 4 | (1) 保存範囲及び活用方策について                                                                                                                                                                                          |
| 第 5 回   | 平成 2 9 年 2 月 1 日<br>広島大学東千田未来創生センター<br>3 階 講義室 M 3 0 4   | (1) 旧理学部 1 号館の保存・活用の方針について                                                                                                                                                                                  |

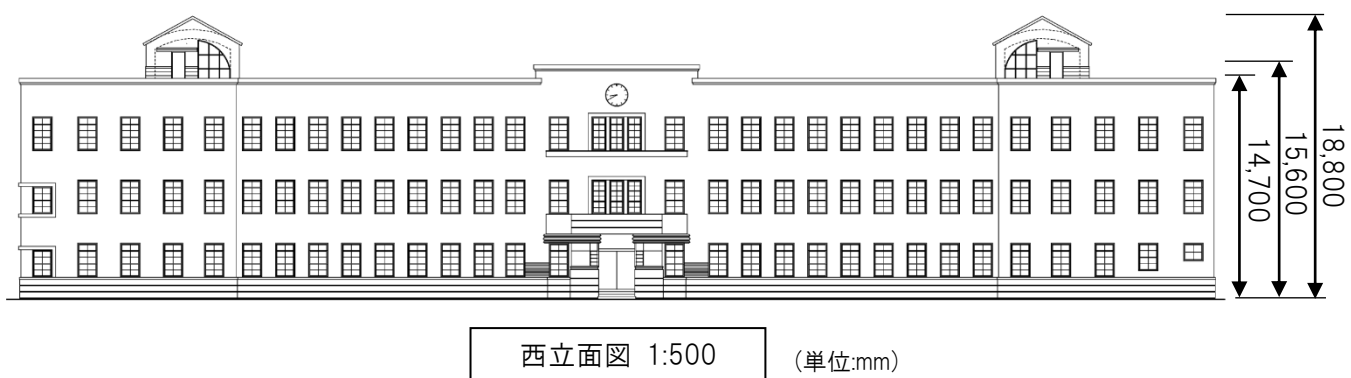
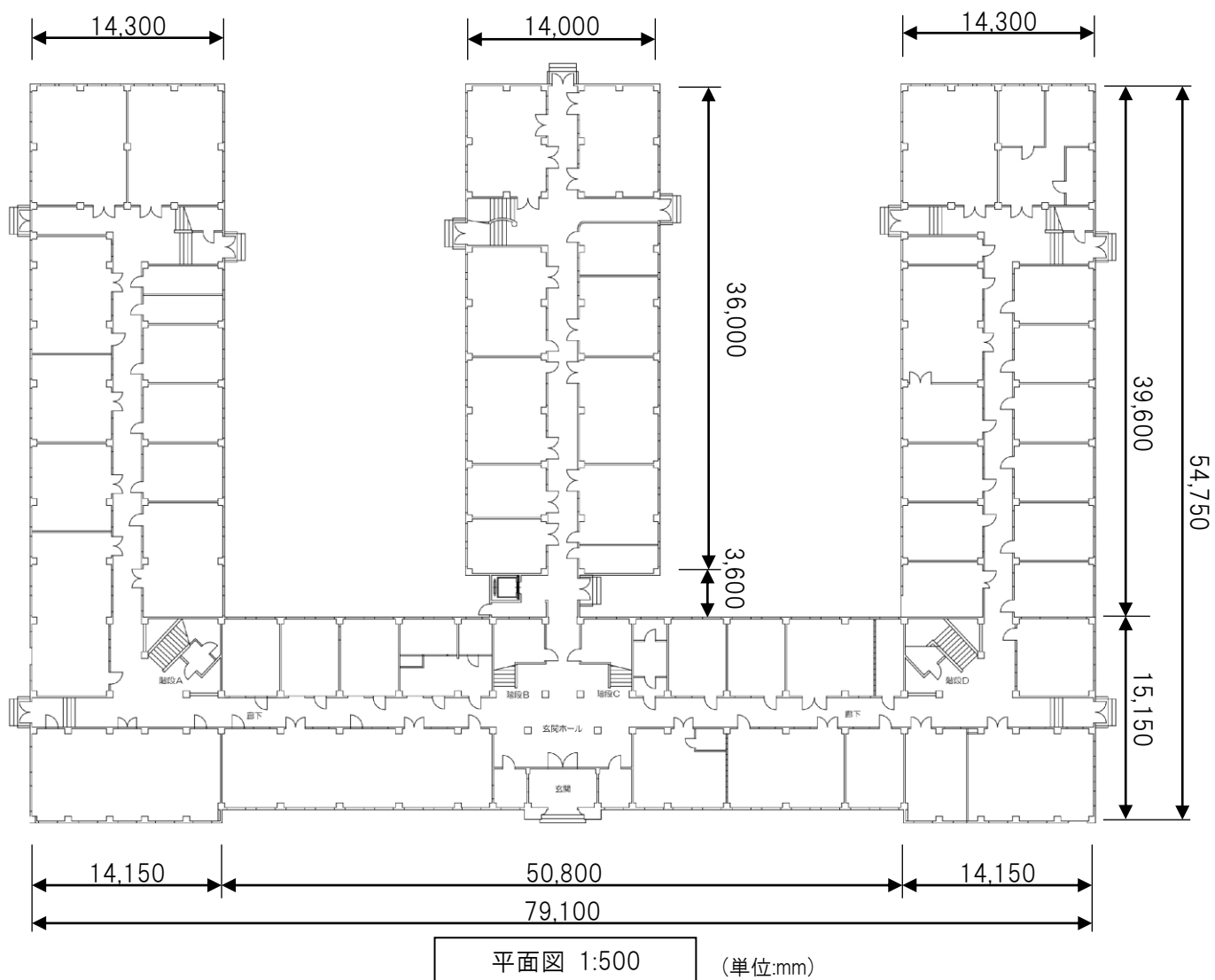
広島大学旧理学部 1 号館の保存・活用に関する懇談会の開催状況の詳細は、広島市ホームページの「まちづくり > 都市整備 > 広島大学本部跡地の活用」の中に掲載しています。

(2) 広島大学旧理学部 1 号館の保存・活用に関する懇談会委員

| 区 分 | 氏 名     | 所属団体・役職                       |
|-----|---------|-------------------------------|
| 座 長 | 高田 隆    | 広島大学 理事・副学長(社会産学連携担当)         |
| 委 員 | 小谷 幸生   | 広島経済大学 経済学部学部長                |
| 委 員 | 桐木 建始   | 広島女学院大学 副学長                   |
| 委 員 | 久保田 トミ子 | 広島国際大学 副学長                    |
| 委 員 | 河内 浩志   | 広島工業大学 副学長                    |
| 委 員 | 弘法 寛三   | 広島大学本部跡地活用促進会 会長              |
| 委 員 | 曾根 嘉太郎  | 広島経済同友会 都市機能委員会副委員長           |
| 委 員 | 谷村 武士   | 広島商工会議所 専務理事兼事務局長             |
| 委 員 | 坪井 直    | 日本原水爆被害者団体協議会 代表委員            |
| 委 員 | 原田 俊英   | 県立広島大学 理事・副学長(研究・地域貢献・国際交流担当) |
| 委 員 | 村上 堅造   | 千田地区社会福祉協議会 会長                |
| 委 員 | 山川 肖美   | 広島修道大学 副学長・ひろしま未来協創センター長      |
| 委 員 | 頼 祺一    | 原爆遺跡保存運動懇談会 座長                |
| 委 員 | 若林 真一   | 広島市立大学 理事・副学長(企画・戦略担当)        |

(委員は五十音順。敬称略)

## 2 広島大学旧理学部1号館の1階平面図、西立面図及び床面積表



|         | 算定式(※1)                                                                                                                   | 面積                      |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|
| 1 階     | $(15.15 \times 14.15) \times 2 + (14.15 \times 50.8) + (39.6 \times 14.3) \times 2 + (36.0 \times 14) + (3.6 \times 6.5)$ | 2,807.53 m <sup>2</sup> |
| 2 階     | 同上                                                                                                                        | 2,807.53 m <sup>2</sup> |
| 3 階     | 同上                                                                                                                        | 2,807.53 m <sup>2</sup> |
| PH階(※2) | $(5.7 \times 5.85) \times 2$                                                                                              | 67 m <sup>2</sup>       |
| 合 計     |                                                                                                                           | 8,489.59 m <sup>2</sup> |

※1 吹き抜けも算入

※2 屋上に設けられた階段室の部分

|       |                                                    |
|-------|----------------------------------------------------|
| 登録番号  | 広K0-2016-549                                       |
| 名 称   | 広島大学旧理学部1号館の保存・活用の方針                               |
| 主 管 課 | 広島市都市整備局都市機能調整部                                    |
| 所 在 地 | 〒730-8586<br>広島市中区国泰寺町一丁目6番34号<br>TEL 082-504-2698 |